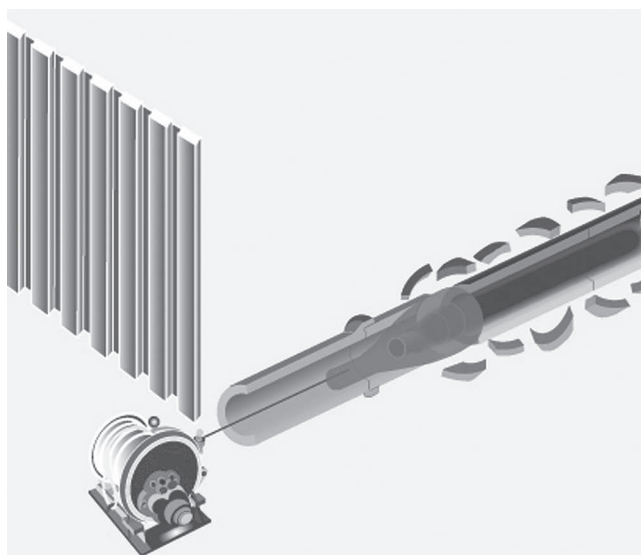


お手軽に管改築・更新（管径UPも出来る）**インパクトモールPRS工法（PIPE RENEWAL SYSTEM）****前川 英昭**

MAEKAWA Hideaki

インパクトモール協会
技術部会長

図ー1 PRS工法イメージ

当工法は、昭和61年から研究、開発、実験を行い平成元年3月に大阪市で公開施工を披露し、各関係者の見守る中成功をおさめました。

テスト期間を含めると20年以上の歴史があり管路改築・更新工法としては老舗の部類に入ると自負しています。

1. インパクトモールとは？

圧縮空気を利用して、ピストンを前後に作動させ推進力と衝撃力を利用した機械です。

インパクトモールはロシアで線路下にパイプを布設するのに開発されたのが発祥です。

現在もヨーロッパではドイツ、スイス、ウクライナ等に各製造メーカーがあります。

我々はこの機械の特性を利用して管路改築工法以外にも、道路横断の各種管布設や河川横断の管布設、さく井、パイプルーフ等を行っています。詳しくは当協会ホームページをご覧ください。

“www.impactmole.co.jp”

2. PRS工法（PIPE RENEWAL SYSTEM）とは？

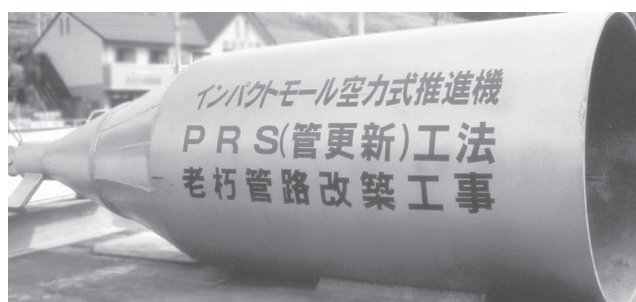
クラッキングヘッドの中に、インパクトモール推進機を組み込み到達側の旧管内部よりクラッキングヘッド先頭をワイヤーもしくは鋼棒で牽引し、クラッキングヘッドで旧管を破碎しながら後続に新管を追従させ更新していく方法です。

更新する新管は、同径管か1サイズ大きい管が基本です。

旧管はクラッキングヘッドにより破碎され新管周りに圧密されていきます。

土砂を取り込まないので、陥没する危険が極端に少ないです。

主な使用機材はコンプレッサーと油圧ユニットと溶接機程度で、プラントのようなものは必要ありません。



写真ー1 ラッキングヘッド